



がん対策加速化プラン

平成27年6月1日厚生労働省は、「がんサミット」を初開催。

年内に「がん対策加速化プラン」を作成し、政府一丸となって治療率の向上と患者の立場に立ったがん対策の推進に取り組むことを宣言しました。

がん対策加速化プランの3つの要素

①	「がん教育」「たばこ対策」「健診の受診率向上」によって、避けられるがんを防ぐ。
②	小児がん、希少がん、難治性がんの研究を進め、死亡者の減少を目指す。
③	緩和ケア、地域医療の充実 がんと就労、「がんと共に生きる」社会を推進する。

人は、常に新しい細胞を作っています。がん細胞は、いつも私たちのすきを狙って入り込みます。

がん細胞がつくられても、小さいときは、自分の免疫細胞が常に戦い、やっつけてこれ以上増殖しないように保つ

「がん」は、日本人の2人にひとりが一生のうちになる、身近な病気です。

ています。

しかし、何か不意に1個のがん細胞が大きく成長したとき、「がん」と診断できるようになった状況、細胞増殖が進んでしまい、自分の免疫力で簡単にやっつけることができなくなってしまいます。

がんを早期発見・治療が大切

最新医療では、小さければ、簡単に治療することができます。

《大腸がん検診…検便検査》

早期の大腸がん（前がん状態）では、お腹を切らずに内視鏡で病変を取り除くことができます。

《肺がん検診…胸のレントゲンやたんの検査》

抗がん剤や放射線治療せず切除手術して数週間でお仕事へ復帰できるほどです。

《肝臓がん検診…肝炎ウイルス検査など（血液検査）》

肝炎ウイルスを早く発見し、肝炎ウイルスの治療をきちんと受ければ、肝臓がんは防ぐことができます。

《胃がん健診》 《子宮がん検診》

《乳がん検診》

早く発見すれば、早期治療で仕事復帰も可能です。恐れることはありません。

うるま市のがん検診は

うるま市 平成 26 年度
「がん検診」受診率

	40~64歳	65歳以上
肺がん	7.4%	19.0%
胃がん	2.9%	6.5%
大腸がん	4.4%	12.7%
子宮がん	12.7%	17.8%
乳がん	12.4%	16.4%

※各検診の受診率がかなり低いです。

《がん検診》のお知らせ

検査項目…

肺がん、肝炎ウイルス検査（40歳以上）
胃がん、大腸がん（19歳以上）

受診方法…

各公民館、うるまなどで行っている集団健診で「生活習慣病予防健診」「特定健診」と一緒に「がん検診」を受けることができます。
・うるま市の「がん検診」は、集団健診会場でのみ、行っています。
・特定健診など病院で受けた方（個別健診）も、「がん検診」だけを受けることができます。

・社会保険などの他の健康保険の方も「がん検診」は市で受けることができます。

個人負担金…

検査項目や年齢により異なります。（免除の方…非課税世帯、生活保護、後期高齢者）ご確認ください。

持ってくるもの…

健康保険証・ハガキ・健康手帳・検査料金

ハガキのない方、紛失した方は、健康支援課へお問合せください。

（※婦人がん検診日程は別日に行っています。）

【お問い合わせ】 健康支援課 ☎098-973-3209 うるま市ホームページをご覧ください。